

令和6年度使用  
小学校用教科用図書  
採択参考資料

図画工作

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
9 開隆堂	図工 105・106・305・306・505・506
116 日文	図工 107・108・307・308・507・508

# 図画工作

## I 教科用図書の調査研究に当たって

### 1 調査対象教科用図書

9 開隆堂 116 日文

### 2 調査研究の観点

- (1) 表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 個性を生かして活動することができるよう配慮されており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 「A表現」と「B鑑賞」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 表記や表現が適切であり、各ページの資料や紙面のデザイン等が学習意欲を喚起するよう配慮されているか。

### 3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるように配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいように配慮している。

## II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

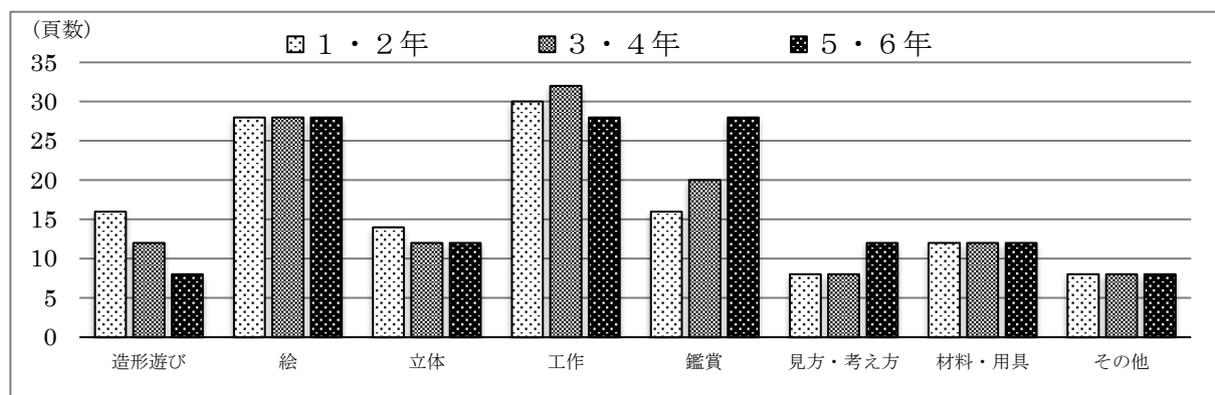
3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点(1)(3)(4)
- (2) 学習指導要領に関する事…………… 観点(1)
- (3) 児童の実態や地域の実情に関する事…………… 観点(2)
- (4) 内容の構成・配列に関する事…………… 観点(3)
- (5) 表記や表現、資料等に関する事…………… 観点(4)

1 概括的な調査研究

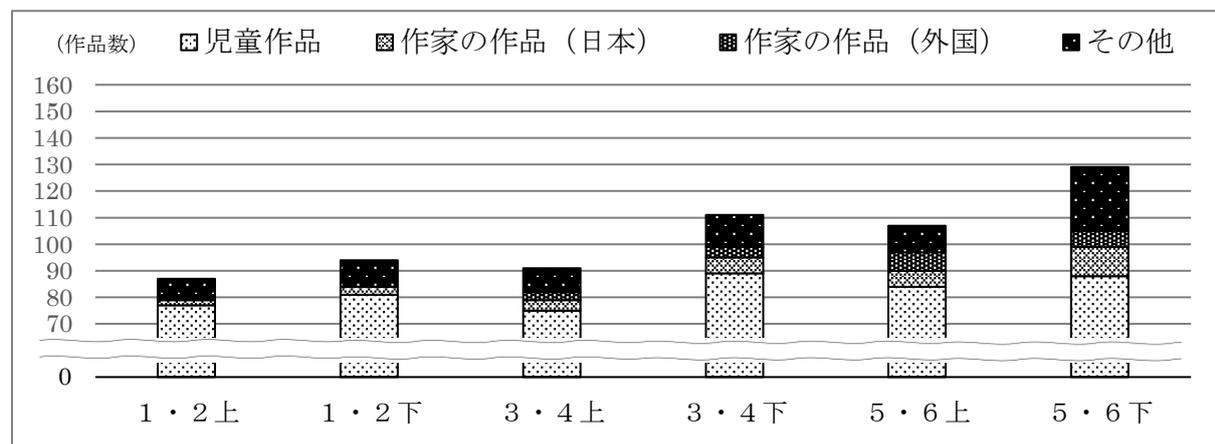
(1) 領域別のページ構成

	造形遊び	絵	立体	工作	鑑賞	見方・考え方	材料用具	その他	合計
1・2上	8	14	8	14	8	4	6	4	66
1・2下	8	14	6	16	8	4	6	4	66
3・4上	6	14	6	16	10	4	6	4	66
3・4下	6	14	6	16	10	4	6	4	66
5・6上	4	14	6	14	14	4	6	4	66
5・6下	4	14	6	14	14	8	6	4	70



(2) 掲載作品の構成

	児童作品	作家の作品 (日本)	作家の作品 (外国)	その他	合計
1・2上	77	2	0	8	87
1・2下	81	3	0	10	94
3・4上	75	4	3	9	91
3・4下	89	6	4	12	111
5・6上	84	6	7	10	107
5・6下	88	11	6	24	129



**2 学習指導要領に関すること**

- 資質・能力の三つの柱に基づいた学習のめあてが示されている。
- 活動を通して特に重点的に育てたい力を表すめあてを示し、活動後に振り返ることができるようにされている。
- 裏表紙に、図画工作科を学ぶ意義について、保護者向けのメッセージが掲載されている。

**3 児童の実態や地域の実情に関すること**

- 表紙に、児童の作品が示され、裏表紙に作者の作品への思いが掲載されている。
- 題材に応じて「安全」や「かたづけ」が示されており、それぞれ囲みを設けイラストを用いて掲載されている。
- 伝統文化・郷土の民芸品等について、児童が実際に伝統技法を使った題材で活動している事例が掲載されている。
- 日本及び世界の国々の作品を幅広く取り上げている。
- 外国の児童作品が掲載されている。

**4 内容の構成・配列に関すること**

- 題材が「造形遊び」「絵」「立体」「工作」「鑑賞」の五つに分類され、マークと色で示されている。
- 題材ごとに設定されている「あわせて学ぼう」では、他教科との関連が示されている。
- 巻頭に、「図画工作を学ぶみなさんへ」が示されている。
- 目次に、各題材に取り組む様子を写真で掲載し、授業の見通しをもたせている。
- 「小さな美術館」では、複数の作家による作品が掲載されている。
- 「みんなのギャラリー」では、様々な地域の造形的な取組について活動の様子や作品等の写真が掲載されている。
- 「ひらめきショートチャレンジ」では、短時間で実践可能な活動例が示されている。
- 「用具や材料を知ろう」では、材料や用具の使い方が示されている。

**5 表記や表現、資料等に関すること**

- 児童が活動する様子やその表情が分かる写真が使用されている。
- 色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮されている。
- 題材ごとに、使用する用具が、マークで提示されている。
- SDGsに関する取組や作品が、SDGsのマークとともに掲載されている。
- 資質・能力の三つの柱に「くふうさん」「ひらめきさん」「こころさん」というキャラクターが設定され、各題材の冒頭に、学習のめあてとともに示されている。
- 裏表紙に、「自分のマークをかきましよう」が掲載されている。

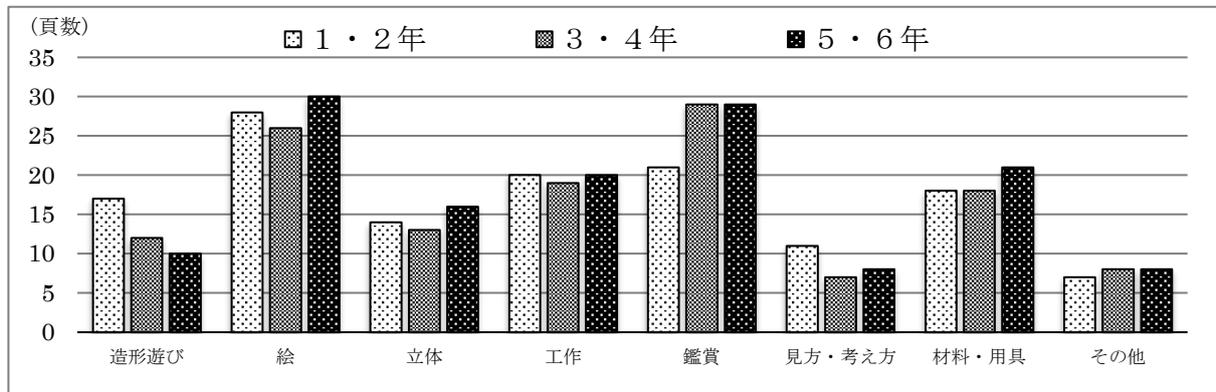
○デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	合計
32	32	31	31	31	29	186

1 概括的な調査研究

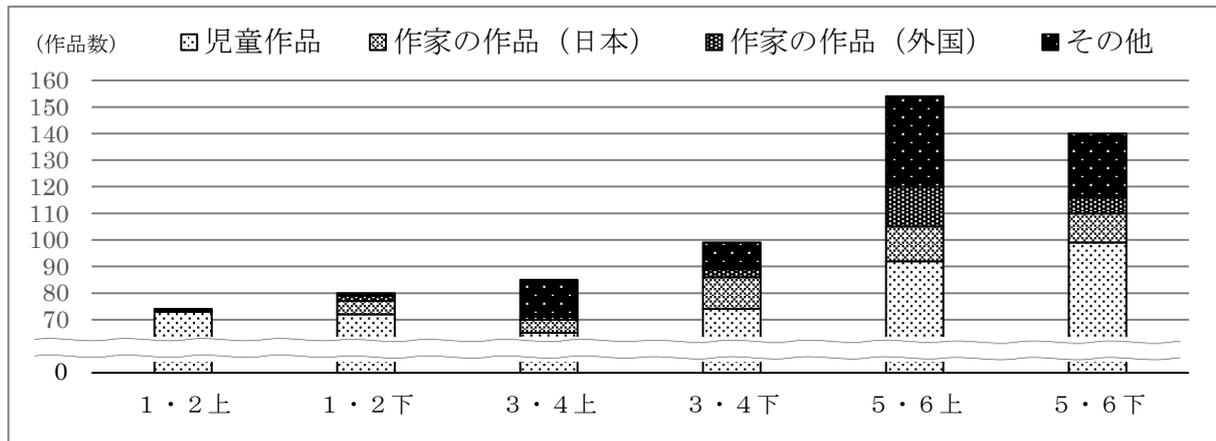
(1) 領域別のページ構成

	造形遊び	絵	立体	工作	鑑賞	見方・考え方	材料用具	その他	合計
1・2上	10	14	6	10	11	7	9	3	70
1・2下	7	14	8	10	10	4	9	4	66
3・4上	6	14	7	9	14	3	9	4	66
3・4下	6	12	6	10	15	4	9	4	66
5・6上	4	14	10	10	16	3	11	4	72
5・6下	6	16	6	10	13	5	10	4	70



(2) 掲載作品の構成

	児童作品	作家の作品 (日本)	作家の作品 (外国)	その他	合計
1・2上	73	0	0	1	74
1・2下	72	5	2	1	80
3・4上	65	5	1	14	85
3・4下	74	12	3	10	99
5・6上	92	13	15	34	154
5・6下	99	11	6	24	140



**2 学習指導要領に関すること**

- 資質・能力の三つの柱に基づいた学習のめあてが示されている。
- 題材ごとに、活動後の振り返りの視点が示されており、活動後に振り返ることができるようにされている。
- 巻頭に、図画工作科を学ぶ意義について、保護者向けのメッセージが掲載されている。

**3 児童の実態や地域の実情に関すること**

- 表紙に、児童の作品が示され、裏表紙に作者の作品への思いが掲載されている。
- 題材に応じて、「気をつけよう」や「かたづけ」が示されており、用具を使用する際の安全面での配慮事項や片づけのポイントが掲載されている。
- 伝統文化・郷土の民芸品等について、児童が実際に伝統技法を使った題材で活動している事例が掲載されている。
- 日本及び世界の国々の作品を幅広く取り上げている。
- 外国の児童作品が掲載されている。

**4 内容の構成・配列に関すること**

- 題材が「造形遊びをする活動」「絵に表す活動」「立体に表す活動」「工作に表す活動」「鑑賞する活動」の五つに分類され、色別に示されている。
- 題材ごとに設定されている「つながる学び」では、他教科との関連が示されている。
- 巻頭に、「教科書の使い方」が示されている。
- 巻頭に、「学習の進め方」を掲載し、授業の見通しをもたせている。
- 「図工のみかた」では、造形的な見方・考え方を働かせる様々な資料が掲載されている。
- 「教科書美術館」では、複数の作家による作品が掲載されている。
- 「アート・カードを楽しもう」では、鑑賞の方法や見るヒント等が示されている。
- 「材料と用具のひきだし」では、材料や用具の使い方が示されている。

**5 表記や表現、資料等に関すること**

- 児童が活動する様子やその表情が分かる写真が使用されている。
- 色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮されている。
- 題材ごとに、使用する用具が、マークで提示されている。
- 図画工作科の授業の前に行うことを想定した「図工たいそう」が掲載されている。
- 学習のめあてを達成するためのヒントが、マークとともに示されている。
- 裏表紙に、「つながる図工」として複数の作品が掲載されている。

○デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	合計
38	37	38	37	39	36	225